

# 工業蒲田

所 50番地 3  
 目 21組 合 会  
 丁 8同 行 委 員 会  
 行 47協 発 部 忠 所 橋 2~5  
 所 浦 業 及 編 輯 部 忠 所 橋 2~5  
 区 (732) 業 及 編 輯 部 忠 所 橋 2~5  
 田 工 輯 編 輯 部 忠 所 橋 2~5  
 大 話 田 編 紙 編 輯 部 忠 所 橋 2~5  
 都 電 浦 機 関 永 印 東 社 栄  
 東 京 都 式 会 社 栄

## 経営者として知っておくべき

## 電子計算機の知識

### 電子計算機とは何か

電子計算機の正体は一体どんなものか、落語に出てくる与太郎と比べながら説明してみよう。電子計算機は、事務計算や各種予測等が、現在の花形のように顔をしていますが、実は与太郎とよく似ているのです。違う点は何となく、落語に出てくる与太郎と比べて、頭の中身は大して変わりません。主人に対して忠実で、そのうえバカで、即ち、電子計算機はスチード時代の馬鹿の与太郎と云えます。

与太郎に、掃除一つ頼むにしても、塵を掃いて水を撒き、雑巾がけをして、……と、こまごまと頼まなければならないと同様に、電子計算機は何をやってもずぼらな顔をしていますが、実は与太郎とよく似ているのです。違う点は何となく、落語に出てくる与太郎と比べて、頭の中身は大して変わりません。主人に対して忠実で、そのうえバカで、即ち、電子計算機はスチード時代の馬鹿の与太郎と云えます。



電子計算機の知識 (青年部会)

電子計算機も、AとBを加えて答を印刷しない、順序立てて命令する必要がある。与太郎には耳があっても、忘れてしまうので、紙に、しかも力な文字を書いてやらなければなりません。紙に、しかも機械の言葉で書いてやらなければなりません。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。

この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。

この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。

この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。この機械の言葉が初めはわかり難い、苦勞の種なのです。

### 電子計算機を使うためのあらまし

#### データ

電子計算機を使って処理する際、その処理に必要な原始帳票類をデータと呼んでいます。実際には、原始帳票類の内容を、電子計算機の文字になおして、つまり、紙テープやカードにパンチしたものをデータと呼んでいます。

電子計算機を使う際には、このデータを材料として、手を加えて新しい製品(帳票)を作ります。

電子計算機は、なにかを讀んで演算し、何かを作り出すことがその基本的な仕事です。従って、どのような表や伝票を作るのか、ということがはっきり決まっていることが必要です。でない、プログラムを作ることができません。

電子計算機の製造である表や伝票を、即ち、こういうものを作り出したいのだという仕様書を書いたものを、帳票デザインと言います。

電子計算機の制御機能は、卓上計算機を使って計算する時、その人の判断力に相当します。先ず、電子計算機に、問題を解くのに必要な計算の内容と順序とをプログラム文法にしたがって一

と音順に整理することが考えられます。また、番号音順に整理することも考えられます。しかし、もっと考えて、例えば城之内を二、富田を三、王を二、長嶋を二、柴田を二と番号を変えてみますと、一桁の時はピッチ、二桁は内野手、三桁は外野手ということまでわかり、整理上非常に便利になります。

整理する量が少ない時には、整理の便利さは余り問題になりませんが、電子計算機で扱う量は、通常非常に多くなりますので、整理の便利さが問題となり、電子計算機の使い方の上手、下手にも通じます。

電子計算機は、なにかを讀んで演算し、何かを作り出すことがその基本的な仕事です。従って、どのような表や伝票を作るのか、ということがはっきり決まっていることが必要です。でない、プログラムを作ることができません。

電子計算機の製造である表や伝票を、即ち、こういうものを作り出したいのだという仕様書を書いたものを、帳票デザインと言います。

電子計算機の制御機能は、卓上計算機を使って計算する時、その人の判断力に相当します。先ず、電子計算機に、問題を解くのに必要な計算の内容と順序とをプログラム文法にしたがって一

そして、材料たるデータが一定の形をしているように、製品である帳票も、一定の形を決めておかなければなりません。その場合、見易いように、自分の好きなようにデザインすることが出来ます。ただし、横に印刷できる文字数、文字の種類は制限されます。

さて、材料(データ)のこと、製品(帳票)のことを申上げました。プログラムとは、仕事の手順(加工方法)が書かれているもので、これがなければ、電子計算機は動いてくれません。

では、どのようにしてプログラムを作るのか、と申しますと、先ず、人間の頭で、なげなく考えてやっていると、つまり、仕事の手順や行動を一つ一つ分析して、その順序と内容を組み立てていきます。これを、フローチャートと言います。

プログラムの手順として大きく分けて、次の段階に分けられます。

①処理する問題(作業)の分析  
 ②流れ図作成(フローチャート)  
 ③コーディング(紙に命令を書くこと)  
 ④デバッグ(プログラムのテスト)

1、A+Bを計算する  
 2、1の結果にCを掛ける  
 3、2の結果を一時記憶しておく  
 4、D-Eを計算する  
 5、4の結果をFで割る  
 6、3において記憶しておいた数に5の結果を加える

このように、卓上計算機で計算するのと同じで、これを超高速で演算するのですが、先ず、A+Bを行なう命令がなくては、計算機の制御回路は加算をする命令であると判断して、加算回路に指

「とさ」といいます」  
 ◎業務報告  
 が、計算機の中では、次のように分解されます。

◎納涼麻雀大会  
 ◎中堅幹部指導講座  
 ◎組員会  
 ◎掲板  
 ◎図書会  
 ◎この泉

◎優勝の栄冠は  
 大座工業に  
 第二回会社対抗  
 ボーリング大会  
 ◎蒲田工業協同組合  
 二十一年史

◎安心を積立てる  
 国の企業共済  
 ◎貸付期間十五年  
 従業員持株制度  
 商工中金だより

◎十月九日から  
 大田・日暮工業展

◎本格的に検討  
 下請振興法を

◎経営者として  
 知っておくべき  
 電子計算機の知識

◎目次

◎1  
 ◎2  
 ◎3  
 ◎4  
 ◎5  
 ◎6  
 ◎7  
 ◎7

◎7  
 ◎7  
 ◎7  
 ◎6  
 ◎6  
 ◎6  
 ◎5  
 ◎4  
 ◎4  
 ◎4  
 ◎4  
 ◎1

目次

1 経営者として知っておくべき 電子計算機の知識

2 電子計算機とは何か

3 電子計算機を使うためのあらまし

4 データ

5 電子計算機の知識 (ハードウェア)

6 制御機能

7 作成資料

8 電子計算機の構造

9 電子計算機の知識 (ハードウェア)

10 制御機能

11 作成資料

12 電子計算機の構造

13 電子計算機の知識 (ハードウェア)

14 制御機能

15 作成資料

16 電子計算機の構造

17 電子計算機の知識 (ハードウェア)

18 制御機能

19 作成資料

20 電子計算機の構造

21 電子計算機の知識 (ハードウェア)

22 制御機能

23 作成資料

24 電子計算機の構造

25 電子計算機の知識 (ハードウェア)

26 制御機能

27 作成資料

28 電子計算機の構造

29 電子計算機の知識 (ハードウェア)

30 制御機能

31 作成資料

32 電子計算機の構造

33 電子計算機の知識 (ハードウェア)

34 制御機能

35 作成資料

36 電子計算機の構造

37 電子計算機の知識 (ハードウェア)

38 制御機能

39 作成資料

40 電子計算機の構造

41 電子計算機の知識 (ハードウェア)

42 制御機能

43 作成資料

44 電子計算機の構造

45 電子計算機の知識 (ハードウェア)

46 制御機能

47 作成資料

48 電子計算機の構造

49 電子計算機の知識 (ハードウェア)

50 制御機能

51 作成資料

52 電子計算機の構造

53 電子計算機の知識 (ハードウェア)

54 制御機能

55 作成資料

56 電子計算機の構造

57 電子計算機の知識 (ハードウェア)

58 制御機能

59 作成資料

60 電子計算機の構造

61 電子計算機の知識 (ハードウェア)

62 制御機能

63 作成資料

64 電子計算機の構造

65 電子計算機の知識 (ハードウェア)

66 制御機能

67 作成資料

68 電子計算機の構造

69 電子計算機の知識 (ハードウェア)

70 制御機能

71 作成資料

72 電子計算機の構造

73 電子計算機の知識 (ハードウェア)

74 制御機能

75 作成資料

76 電子計算機の構造

77 電子計算機の知識 (ハードウェア)

78 制御機能

79 作成資料

80 電子計算機の構造

81 電子計算機の知識 (ハードウェア)

82 制御機能

83 作成資料

84 電子計算機の構造

85 電子計算機の知識 (ハードウェア)

86 制御機能

87 作成資料

88 電子計算機の構造

89 電子計算機の知識 (ハードウェア)

90 制御機能

91 作成資料

92 電子計算機の構造

93 電子計算機の知識 (ハードウェア)

94 制御機能

95 作成資料

96 電子計算機の構造

97 電子計算機の知識 (ハードウェア)

98 制御機能

99 作成資料

100 電子計算機の構造

101 電子計算機の知識 (ハードウェア)

102 制御機能

103 作成資料

104 電子計算機の構造

105 電子計算機の知識 (ハードウェア)

106 制御機能

107 作成資料

108 電子計算機の構造

109 電子計算機の知識 (ハードウェア)

110 制御機能

111 作成資料

112 電子計算機の構造

113 電子計算機の知識 (ハードウェア)

114 制御機能

115 作成資料

116 電子計算機の構造

117 電子計算機の知識 (ハードウェア)

118 制御機能

119 作成資料

120 電子計算機の構造

121 電子計算機の知識 (ハードウェア)

122 制御機能

123 作成資料

124 電子計算機の構造

125 電子計算機の知識 (ハードウェア)

126 制御機能

127 作成資料

128 電子計算機の構造

129 電子計算機の知識 (ハードウェア)

130 制御機能

131 作成資料

132 電子計算機の構造

133 電子計算機の知識 (ハードウェア)

134 制御機能

135 作成資料

136 電子計算機の構造

137 電子計算機の知識 (ハードウェア)

138 制御機能

139 作成資料

140 電子計算機の構造

141 電子計算機の知識 (ハードウェア)

142 制御機能

143 作成資料

144 電子計算機の構造

145 電子計算機の知識 (ハードウェア)

146 制御機能

147 作成資料

148 電子計算機の構造

149 電子計算機の知識 (ハードウェア)

150 制御機能

151 作成資料

152 電子計算機の構造

153 電子計算機の知識 (ハードウェア)

154 制御機能

155 作成資料

156 電子計算機の構造

157 電子計算機の知識 (ハードウェア)

158 制御機能

159 作成資料

160 電子計算機の構造

161 電子計算機の知識 (ハードウェア)

162 制御機能

163 作成資料

164 電子計算機の構造

165 電子計算機の知識 (ハードウェア)

166 制御機能

167 作成資料

168 電子計算機の構造

169 電子計算機の知識 (ハードウェア)

170 制御機能

171 作成資料

172 電子計算機の構造

173 電子計算機の知識 (ハードウェア)

174 制御機能

175 作成資料

176 電子計算機の構造

177 電子計算機の知識 (ハードウェア)

178 制御機能

179 作成資料

180 電子計算機の構造

181 電子計算機の知識 (ハードウェア)

182 制御機能

183 作成資料

184 電子計算機の構造

185 電子計算機の知識 (ハードウェア)

186 制御機能

187 作成資料

188 電子計算機の構造

189 電子計算機の知識 (ハードウェア)

190 制御機能

191 作成資料

192 電子計算機の構造

193 電子計算機の知識 (ハードウェア)

194 制御機能

195 作成資料

196 電子計算機の構造

197 電子計算機の知識 (ハードウェア)

198 制御機能

199 作成資料

200 電子計算機の構造

201 電子計算機の知識 (ハードウェア)

202 制御機能

203 作成資料

204 電子計算機の構造

205 電子計算機の知識 (ハードウェア)

206 制御機能

207 作成資料

208 電子計算機の構造

209 電子計算機の知識 (ハードウェア)

210 制御機能

211 作成資料

212 電子計算機の構造

213 電子計算機の知識 (ハードウェア)

214 制御機能

215 作成資料

216 電子計算機の構造

217 電子計算機の知識 (ハードウェア)

218 制御機能

219 作成資料

220 電子計算機の構造

221 電子計算機の知識 (ハードウェア)

222 制御機能

223 作成資料

224 電子計算機の構造

225 電子計算機の知識 (ハードウェア)

226 制御機能

227 作成資料

228 電子計算機の構造

229 電子計算機の知識 (ハードウェア)

230 制御機能

231 作成資料

232 電子計算機の構造

233 電子計算機の知識 (ハードウェア)

234 制御機能

235 作成資料

236 電子計算機の構造

237 電子計算機の知識 (ハードウェア)

238 制御機能

239 作成資料

240 電子計算機の構造

241 電子計算機の知識 (ハードウェア)

242 制御機能

243 作成資料

244 電子計算機の構造

245 電子計算機の知識 (ハードウェア)

246 制御機能

247 作成資料

248 電子計算機の構造

249 電子計算機の知識 (ハードウェア)

250 制御機能

251 作成資料

252 電子計算機の構造

253 電子計算機の知識 (ハードウェア)

254 制御機能

255 作成資料

256 電子計算機の構造

257 電子計算機の知識 (ハードウェア)

258 制御機能

259 作成資料

260 電子計算機の構造

261 電子計算機の知識 (ハードウェア)

262 制御機能

263 作成資料

264 電子計算機の構造

265 電子計算機の知識 (ハードウェア)

266 制御機能

267 作成資料

268 電子計算機の構造

269 電子計算機の知識 (ハードウェア)

270 制御機能

271 作成資料

272 電子計算機の構造

273 電子計算機の知識 (ハードウェア)

274 制御機能

275 作成資料

276 電子計算機の構造

277 電子計算機の知識 (ハードウェア)

278 制御機能

279 作成資料

280 電子計算機の構造

281 電子計算機の知識 (ハードウェア)

282 制御機能

283 作成資料

284 電子計算機の構造

285 電子計算機の知識 (ハードウェア)

286 制御機能

287 作成資料

288 電子計算機の構造

289 電子計算機の知識 (ハードウェア)

290 制御機能

291 作成資料

292 電子計算機の構造

293 電子計算機の知識 (ハードウェア)

294 制御機能

295 作成資料

296 電子計算機の構造

297 電子計算機の知識 (ハードウェア)

298 制御機能

299 作成資料

300 電子計算機の構造

301 電子計算機の知識 (ハードウェア)

302 制御機能

303 作成資料

304 電子計算機の構造

305 電子計算機の知識 (ハードウェア)

306 制御機能

307 作成資料

308 電子計算機の構造

309 電子計算機の知識 (ハードウェア)

310 制御機能

311 作成資料

312 電子計算機の構造

313 電子計算機の知識 (ハードウェア)

314 制御機能

315 作成資料

316 電子計算機の構造

317 電子計算機の知識 (ハードウェア)

318 制御機能

319 作成資料

320 電子計算機の構造

321 電子計算機の知識 (ハードウェア)

322 制御機能

323 作成資料

324 電子計算機の構造

325 電子計算機の知識 (ハードウェア)

326 制御機能

327 作成資料

328 電子計算機の構造

329 電子計算機の知識 (ハードウェア)

330 制御機能

331 作成資料

332 電子計算機の構造

333 電子計算機の知識 (ハードウェア)

334 制御機能

335 作成資料

336 電子計算機の構造

337 電子計算機の知識 (ハードウェア)

338 制御機能

339 作成資料

340 電子計算機の構造

341 電子計算機の知識 (ハードウェア)

342 制御機能

343 作成資料

344 電子計算機の構造

345 電子計算機の知識 (ハードウェア)

346 制御機能

347 作成資料

348 電子計算機の構造

349 電子計算機の知識 (ハードウェア)

350 制御機能

351 作成資料

352 電子計算機の構造

353 電子計算機の知識 (ハードウェア)

354 制御機能

355 作成資料

356 電子計算機の構造

357 電子計算機の知識 (ハードウェア)

358 制御機能

359 作成資料

360 電子計算機の構造

361 電子計算機の知識 (ハードウェア)

362 制御機能

363 作成資料

364 電子計算機の構造

365 電子計算機の知識 (ハードウェア)

366 制御機能

367 作成資料

368 電子計算機の構造

369 電子計算機の知識 (ハードウェア)

370 制御機能

371 作成資料

372 電子計算機の構造

373 電子計算機の知識 (ハードウェア)

374 制御機能

375 作成資料

376 電子計算機の構造

377 電子計算機の知識 (ハードウェア)

378 制御機能

379 作成資料

380 電子計算機の構造

381 電子計算機の知識 (ハードウェア)

382 制御機能

383 作成資料

384 電子計算機の構造

385 電子計算機の知識 (ハードウェア)

386 制御機能

387 作成資料

388 電子計算機の構造

389 電子計算機の知識 (ハードウェア)

390 制御機能

391 作成資料

392 電子計算機の構造

393 電子計算機の知識 (ハードウェア)

394 制御機能

395 作成資料

396 電子計算機の構造

397 電子計算機の知識 (ハードウェア)

398 制御機能

399 作成資料

400 電子計算機の構造

401 電子計算機の知識 (ハードウェア)

402 制御機能

403 作成資料

404 電子計算機の構造

405 電子計算機の知識 (ハードウェア)

406 制御機能

407 作成資料

408 電子計算機の構造

409 電子計算機の知識 (ハードウェア)

410 制御機能

411 作成資料

412 電子計算機の構造

413 電子計算機の知識 (ハードウェア)

414 制御機能

415 作成資料

416 電子計算機の構造

417 電子計算機の知識 (ハードウェア)

418 制御機能

419 作成資料

420 電子計算機の構造

421 電子計算機の知識 (ハードウェア)

422 制御機能

423 作成資料

424 電子計算機の構造

425 電子計算機の知識 (ハードウェア)

426 制御機能

427 作成資料

428 電子計算機の構造

429 電子計算機の知識 (ハードウェア)

430 制御機能

431 作成資料

432 電子計算機の構造

433 電子計算機の知識 (ハードウェア)

434 制御機能

435 作成資料

436 電子計算機の構造

437 電子計算機の知識 (ハードウェア)

438 制御機能

439 作成資料

440 電子計算機の構造

441 電子計算機の知識 (ハードウェア)

442 制御機能

443 作成資料

444 電子計算機の構造

445 電子計算機の知識 (ハードウェア)

446 制御機能

447 作成資料

448 電子計算機の構造

449 電子計算機の知識 (ハードウェア)

450 制御機能

451 作成資料

452 電子計算機の構造

453 電子計算機の知識 (ハードウェア)

454 制御機能

455 作成資料

456 電子計算機の構造

457 電子計算機の知識 (ハードウェア)

458 制御機能

459 作成資料

460 電子計算機の構造

461 電子計算機の知識 (ハードウェア)

462 制御機能

463 作成資料

464 電子計算機の構造

465 電子計算機の知識 (ハードウェア)

466 制御機能

467 作成資料

468 電子計算機の構造

469 電子計算機の知識 (ハードウェア)

470 制御機能

471 作成資料

472 電子計算機の構造

473 電子計算機の知識 (ハードウェア)

474 制御機能

475 作成資料

476 電子計算機の構造

477 電子計算機の知識 (ハードウェア)

478 制御機能

479 作成資料

480 電子計算機の構造

481 電子計算機の知識 (ハードウェア)

482 制御機能

483 作成資料

484 電子計算機の構造

485 電子計算機の知識 (ハードウェア)

486 制御機能

487 作成資料

488 電子計算機の構造

489 電子計算機の知識 (ハードウェア)

490 制御機能

491 作成資料

492 電子計算機の構造

493 電子計算機の知識 (ハードウェア)

494 制御機能

495 作成資料

496 電子計算機の構造

497 電子計算機の知識 (ハードウェア)

498 制御機能

499 作成資料

500 電子計算機の構造

501 電子計算機の知識 (ハードウェア)

502 制御機能

503 作成資料

504 電子計算機の構造

505 電子計算機の知識 (ハードウェア)

506 制御機能

507 作成資料

508 電子計算機の構造

509 電子計算機の知識 (ハードウェア)

510 制御機能

511 作成資料

512 電子計算機の構造

513 電子計算機の知識 (ハードウェア)

514 制御機能

515 作成資料

516 電子計算機の構造

517 電子計算機の知識 (ハードウェア)

518 制御機能

519 作成資料

520 電子計算機の構造

521 電子計算機の知識 (ハードウェア)

522 制御機能

523 作成資料

524 電子計算機の構造

525 電子計算機の知識 (ハードウェア)

526 制御機能

527 作成資料

528 電子計算機の構造

529 電子計算機の知識 (ハードウェア)

530 制御機能

531 作成資料

532 電子計算機の構造

533 電子計算機の知識 (ハードウェア)

534 制御機能

535 作成資料

536 電子計算機の構造

537 電子計算機の知識 (ハードウェア)

538 制御機能

539 作成資料

540 電子計算機の構造

541 電子計算機の知識 (ハードウェア)

542 制御機能

543 作成資料

544 電子計算機の構造

545 電子計算機の知識 (ハードウェア)

546 制御機能

547 作成資料

548 電子計算機の構造

549 電子計算機の知識 (ハードウェア)

550 制御機能

551 作成資料

552 電子計算機の構造

553 電子計算機の知識 (ハードウェア)

554 制御機能

555 作成資料

556 電子計算機の構造

557 電子計算機の知識 (ハードウェア)

558 制御機能

559 作成資料

560 電子計算機の構造

561 電子計算機の知識 (ハードウェア)

562 制御機能

563 作成資料

564 電子計算機の構造

565 電子計算機の知識 (ハードウェア)

566 制御機能

567 作成資料

568 電子計算機の構造

569 電子計算機の知識 (ハードウェア)

570 制御機能

571 作成資料

572 電子計算機の構造

573 電子計算機の知識 (ハードウェア)

574 制御機能

575 作成資料

576 電子計算機の構造

577 電子計算機の知識 (ハードウェア)

578 制御機能

579 作成資料

580 電子計算機の構造

581 電子計算機の知識 (ハードウェア)

582 制御機能

583 作成資料

584 電子計算機の構造

585 電子計算機の知識 (ハードウェア)

586 制御機能

587 作成資料

588 電子計算機の構造

589 電子計算機の知識 (ハードウェア)

590 制御機能

591 作成資料

592 電子計算機の構造

593 電子計算機の知識 (ハードウェア)

594 制御機能

595 作成資料

596 電子計算機の構造

597 電子計算機の知識 (ハードウェア)

598 制御機能

599 作成資料

600 電子計算機の構造

601 電子計算機の知識 (ハードウェア)

602 制御機能

603 作成資料

604 電子計算機の構造

605 電子計算機の知識 (ハードウェア)

606 制御機能

607 作成資料

608 電子計算機の構造

609 電子計算機の知識 (ハードウェア)

610 制御機能

611 作成資料

612 電子計算機の構造

613 電子計算機の知識 (ハードウェア)

614 制御機能

615 作成資料

616 電子計算機の構造

617 電子計算機の知識 (ハードウェア)

618 制御機能

619 作成資料

620 電子計算機の構造

621 電子計算機の知識 (ハードウェア)

622 制御機能

623 作成資料

624 電子計算機の構造

625 電子計算機の知識 (ハードウェア)

626 制御機能

627 作成資料

628 電子計算機の構造

629 電子計算機の知識 (ハードウェア)

630 制御機能

631 作成資料

632 電子計算機の構造

633 電子計算機の知識 (ハードウェア)

634 制御機能

635 作成資料

636 電子計算機の構造

637 電子計算機の知識 (ハードウェア)

638 制御機能

639 作成資料

640 電子計算機の構造

641 電子計算機の知識 (ハードウェア)

642 制御機能

643 作成資料

644 電子計算機の構造

645 電子計算機の知識 (ハード

(前頁より)

金を出し、Aというデータの入っている記憶装置の場所(これを番地と言います)からAの数値を読み出して加算回路(加算する装置)に入れ次に、同じくBの数値を読み出してきて加算回路に入れて、実際にA+Bが行われます。

このように、命令の持つ意味にしたがって、計算機内部のいろいろな回路に指令を出す働きをするのが制御回路です。電子計算機の中枢神経に当る部分です。

演算機能

四則演算をはじめ、比較等の演算は、演算回路で行なわれます。

四則演算の加減乗除のうち、加算は加算回路、減算は加算回路に補数・補正回路で行なわれます。

乗算にはいろいろの方法がありますが、一般的には繰り返し加算を行ないます。(卓上計算機の場合、思い浮かべて下さい)。除算も基本的には減算の繰り返しによって行われます。

また、手廻し計算機と異なり、乗・除算では、倍数回路というものを使用して計算の回数が少なくなるように作られています。

四則演算以外、比較、桁移動の演算も、この演算回路で行なわれます。

記憶機能

電子計算機は、他の計算機と違って、大量の記憶機能を持っています。

なぜ、必要かと言いますと、

- 1、計算の方法や順序を憶える(これがプログラムです)
- 2、計算に必要なデータを憶える
- 3、計算途中の中間結果を憶える
- 4、計算の結果を憶える

その他、各種の数値を憶えなければ

はならないからで、電子計算機を大形、中形、小形と分けているのは、この記憶量の大小にもよっています。

この記憶装置は、磁性材と電子回路からできています。

磁性材はフェライトと呼ばれる酸化磁性体で、この特長は、一度磁化しますと、磁場を切っても、新しい磁化を行なわない限り、いつまでも磁化された状態を保っています。

現在、一般に用いられているのは、磁心記憶装置、磁気ドラム記憶装置、磁気テープ記憶装置があります。

磁心記憶装置は、そこに記憶されている情報を読み出したり、或いは書き込んだりする速度は、何マイクロ秒(一マイクロ秒は百万分の一秒)という速さで、最も理想的なもので、一桁当りの大きさと価格が高つくといふ欠点があります。

その反対が磁気テープで、中間に位置するのが磁気ドラムです。

この三種類の装置の長所、短所をうまく使いわけているのが、現在の電子計算機です。

さて、次に記憶の原理について述べてみたいと思います。

情報を相手に伝達するのに、どんな方法があるか、身近なものをあげてみますと、

- 1、文字を用いる。
- 2、記号を用いる。
- 3、声(話し)。
- 4、光(ランプ等)。
- 5、動作(手旗信号)。
- 6、電気(モーター)。
- 7、電流のバルス。
- 8、磁極性

などがありますが、電子計算機では、7・8が応用されています。

7の電流のバルスにしろ、8の

磁極性にせよ、電流が通じているかないか、磁化されているかないか、のどちらかですので、話をわかり易くするため、ランプを使う情報表現を説明することにします。

ランプ一個の場合(二通り)

点灯しているか、消えているかのどちらかで、伝達情報は二通りで表現してみましょ。

ランプ六個の場合(六四通り)

ランプ七個の場合(二八通り)

ランプ八個の場合(二五六通り)

即ち、お気付きのように、ランプ一個増える毎に、麻雀の牌のように、倍倍となります。

と云って、私たちが日常の事務で扱う情報の大部分は数字ですので、この数字を、ランプの点消で表現してみましょ。



情報を相手に伝達するのに、どんな方法があるか、身近なものをあげてみますと、

- 1、文字を用いる。
- 2、記号を用いる。
- 3、声(話し)。
- 4、光(ランプ等)。
- 5、動作(手旗信号)。
- 6、電気(モーター)。
- 7、電流のバルス。
- 8、磁極性

などがありますが、電子計算機では、7・8が応用されています。

7の電流のバルスにしろ、8の

ご承知のように、数字は0から九までの十種類ですので、四個のランプが必要なのはわかりのことと思います。

いま、次に、四個のランプについて、点灯している状態を1で表わし、消えている状態を0で表わしますと、

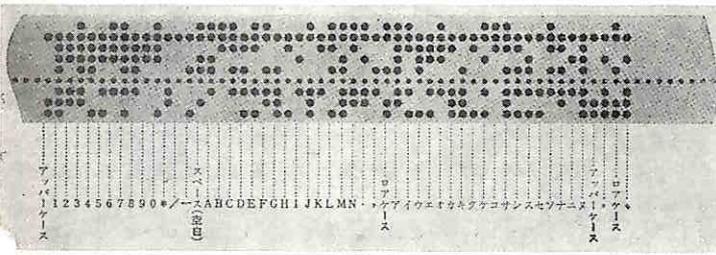
(燈付) (ランプの消・灯)

0 ..... 10000

これをご覧になればおわかりのように、十進法の数字をランプの点消で表現しますと、数字二つでランプの桁が二つ上って、二進法の形をとっています。電子計算機が二進法だと言われているので、

入力機能

通常、前に申上げましたように紙テープやカードにパンチしたものを材料として、電子計算機に入ります。



れるわけですが、(タイプライターのけん盤からも情報を入れることができます)、紙テープは通常八単位(または六単位)のものを用います。八単位というのは、写真のように、タテに八つの孔があくもので、その孔のあき方によって数字や文字を表わすのです。(タテ一列で二文字を表わします)。カードは一枚に八〇桁のデータ(数字でも文字でも表わせる)がせん孔できる八〇欄カードがあります。

紙テープやカードにせん孔した情報を、計算機に読みこむ装置を人力装置と言います。

出力機能

計算機で計算された結果を出す機能であって、

- 1、紙テープにせん孔する。
- 2、印刷する。

の二通りがあります。

紙テープにせん孔する場合は、入力の場合と全く逆で、記憶装置に記憶されている文字、或いは数字が、二つつ八単位(または六単位)の紙テープにせん孔されて出てきます。

印刷する場合は、テープにせん孔するのと違って、直接人間が読める文字に印字します。

印字する装置として、タイプライター装置とラインプリンターがあります。

タイプライター装置の場合は、人間が二つつげん盤を叩いて印字していくのと同じように、計算機からの信号によって自動的に二つつげん盤が叩かれます。

二つつげん盤が叩かれている間は、ラインプリンターを使います。これを使いますと、ヨコ二行分が一せいに印

(次頁へ)

切味のすごい!

# ダイヤバイト

DBN

超硬特殊バイト

堺州ステリアンハイス付刃・突切・素材

【カタログ送呈】

## 中村工機株式会社

東京都大田区西蒲田7-1~11  
電話 (731) 3419, 6658 (733) 2861

ミドリ安全靴 ミドリワーキングウェア  
ミドリヘルメット ミドリ作業用手袋

労働省推奨

川崎支店  
TEL (52) 4381 (代)

# M ミドリ安全株式会社

川崎支店	池田	1番	2番	2番	1番
本川	尾川	5	4	3	3
石川	石川	1	3	7	7

川崎市上平間字池淵  
東京都東区谷区石川  
福島県石川郡石川町

(前頁より)  
副され、小形計算機でも一分間に  
ます。

### 電子計算機を動かすには (ソフトウェア)

電子計算機は非常に大きなデー  
タ処理システムであると同時に、  
高価な機械でもあります。  
また、電子計算機でデータを処  
理する場合には、非常に長いプロ  
グラムをいくつも組んでおかねば  
なりません。組まれたプログラム  
のチェックも能率よく行なわれな  
ければなりませんし、分類、或いは  
データ変換などの処理や、いろい  
ろの仕事の切替えも、次から次へ  
と円滑に行なわれなければなりま  
せん。

これらの処理を円滑に能率よく  
行なうために、いろいろの工夫が  
なされ、便利なシステムが開発さ  
れています。このシステムをソフ  
トウェアと呼んでいます。  
電子計算機を評価する場合、機  
械自体、即ちハードウェアの機能  
と合わせて、ソフトウェアの機能  
が非常に重要視されます。  
ハードウェアに関する特徴や性  
能などは、解説書やカタログなど  
にわかり具体的に書いています。ソ  
フトウェアの性能は具体的に  
明示することは困難で、実際に使  
用してみないと、その真価がわか  
りません。このソフトウェアの機  
能を充分使いこなすかどうかによ  
って、電子計算機の処理能力に非  
常に大きな差が出てきます。です  
から、電子計算機を生かすも殺す  
も、プログラマーの腕次第とい  
うことになります。

二〇行〜四八〇行の印刷ができ  
ます。  
になります。プログラムを正しく  
組めば電子計算機は正しく計算し  
プログラムを間違えは思わぬ間違  
った計算をします。  
このことは、世界一流の演奏家  
が集まってオーケストラを作った  
が正しく演奏がなければ音楽は演奏  
されないのと似ています。  
情報(インプット・データ)が  
一度計算機の中に読み込まれます  
と、あとは電子計算機が自動的に  
処理してくれます。しかし、電子  
計算機の内蔵で行なわれる処理手  
順は、仕事をさせる前にあらかじめ  
命令として記憶させておくこと  
が必要で、この一連の命令を、  
プログラムと呼んでおり、電子計  
算機はそのプログラムの命令を、  
一つ一つ順序正しく、電子スビ  
ードで解読していきます。

電子計算機に仕事をさせるには  
計算機にわかる言葉を用いて、処  
理手順通りに命令を与えてやらな  
ければなりません。電子計算機に  
はいろいろな種類のものがあり、  
それぞれ固有の計算機の種類を  
使っています。計算機内部には、そ  
の言葉で命令させるとすれば、その  
命令に対応した演算や、その他の  
動作をするように回路が組み込ま  
れています。

このプログラム言語の形式とし  
て、一般的に、  
1、機械語形式。  
2、アセンブラ形式。  
3、コンパイラ形式。  
三つのものがありますが、いろ  
いろの電子計算機が普及してきま  
すと、同じプログラムが、別々の  
計算機に共通して使えるように

たい、という要求が当然出てしま  
す。  
この要求を満足させ、しかも、  
短期間で習得できるように考え出  
されたのが、アメリカ国防省とメ  
ソソ

にわかる機械語、つまり、紙ア  
フにパンチしたものになおす装置  
が必要で、この装置をライターと呼  
んでいます。  
電子計算機による最適な処理方  
法が決定されますと、これをわか  
り易くするために、図式化して流  
れ図、即ち、フローチャートを作  
ります。

このコンパイラ形式は、人回ります。  
にとって扱いきるに勝手に考  
えられたものであり、表現形式は  
機械語のそれと全く似つかないの  
になつており、計算機自体は機  
械語でしか判読できません。  
これを機械にもわかるよう編  
訳(コンパイラ)処理するとい  
う新しい過程が必要となります。  
即ち、コンパイラ形式で書か  
れたプログラムを編訳して、機械

でも理解ができ、しかも、プロ  
ラム全体の内容説明を、簡単に表  
現する目的で書かれるものです。  
したがって、プログラムを組ん  
でいく過程で、判断や演算の行わ  
れる順番、プログラムを構成する  
各部分の間の関係などを、一見し  
て把握し得るということが、ジ  
ェナル・フローチャートの最も重  
要な点で、プログラム全体の論理  
的なつながりが正しいかどうかを  
確認するために用います。  
フローチャート・フローチャート  
は、プログラム・コーディングを  
行うために最終的に作成するフ  
ローチャートで、重要な用途とし  
て、プログラム作成上の検討資  
料。  
1、コーディングする上の手引。  
2、プログラムの記録。  
3、プログラムの記録。  
の三つが考えられます。  
フローチャート・フローチャート  
は、ジェナル・フローチャートを  
更に詳細に記述し、第三者がイン  
プット・フォームや、アウトプッ  
ト・フォームなどを参照しながら  
内容が理解でき、かつ、プログラ  
ム・コーディングを行なえる程度  
に、詳述されていなければなりま  
せん。  
このように、フローチャート・フ  
ローチャートは、コーディング・  
シートやプログラム・リストディ  
ングの内容を説明したものと  
非常に有効な役割を果たします  
が、この点で完全な機能を發揮さ  
せるためには、フローチャートの各  
ステップが、ジェナル・フロー  
チャートのブロックの、どの部分  
にあたるかを明確に表示して  
ものでなければなりません。  
それには、フローチャート・フ  
ローチャートに使用する記号は、ジ  
ェナル・フローチャートに使用  
する記号と同じ記号が必要で  
(資料は富士通より)



このコンパイラ形式は、人回ります。  
にとって扱いきるに勝手に考  
えられたものであり、表現形式は  
機械語のそれと全く似つかないの  
になつており、計算機自体は機  
械語でしか判読できません。  
これを機械にもわかるよう編  
訳(コンパイラ)処理するとい  
う新しい過程が必要となります。  
即ち、コンパイラ形式で書か  
れたプログラムを編訳して、機械

このコンパイラ形式は、人回ります。  
にとって扱いきるに勝手に考  
えられたものであり、表現形式は  
機械語のそれと全く似つかないの  
になつており、計算機自体は機  
械語でしか判読できません。  
これを機械にもわかるよう編  
訳(コンパイラ)処理するとい  
う新しい過程が必要となります。  
即ち、コンパイラ形式で書か  
れたプログラムを編訳して、機械

内 外 国  
特許と商標の出願  
懇切取扱

# 成島特許

港区新橋1丁目18番地-19号  
キムラヤ大塚ビル6階  
電話 (502) 0638, 0639

赤 馬 重 油  
モ ー ビ ル ガ ス  
モ ー ビ ル 灯 油

モーター石油(株)特約店  
三愛石油(株)代理店

## 株式会社 新興商事

東京都大田区多摩川2丁目29番8号  
電話 (758) 1627 (代表)  
倉庫 東京都大田区新蒲田3-8-8  
電話 (733) 9685

# 下請振興法を本格的に検討

中小企業庁はこのほど「中小企業振興法」(縮)二、共同化、協業化。業政策審議会下請小委員会(一)の委員を招いて、下請企業の現状と問題点、「下請企業振興法」の現況について「説明書」を提出し、今後の下請企業振興法のあり方について具体的に検討を始めた。

①下請企業が国民経済に重要な役割を果たしている反面、取引条件等の制約もあって、一般的に設備、技術面の遅れ、資本蓄積の不足等、構造的な問題を有していること。②これまで下請代金支払遅延防止法に基づいて下請取引条件の改善に努めてきたが、下請企業の特長もあって、その近代化は十分な状態にあること。③その上、最近の労働力不足等により下請企業をとりまく環境は極めてきびしくなっており、このままでは下請企業の存立基盤がくずれ、国民経済の健全な発展がはげまれる恐れもあること。などから、中小企業庁は新しい観点に立って、抜本的な下請企業振興対策を検討する必要があるとしたものである。

同小委員会では、十月下旬をメドに、具体的な対策、意見を纏めることになっている。

なお、同小委員会に、中小企業庁が参考として提出した下請企業振興対策は次の通り。

下請企業振興法(仮称)の制定

①下請企業の体質改善をはかることと緊急に必要な業種を政令指定し、これについて、親企業の内外製区分の明確化その他下請取引関係の改善。口、技術水準の向上。

## 十月九日から 大田・目黒工業展

区内産業の振興と発展を目的として、大田区と目黒区が合同して開催の工業展も、第七回を迎え、来る十月九日から大田区産業会館において開催されます。

どなたでも観覧できますので、お誘い合わせのうえ、お出かけ下さい。

殊に、工業人は区内工業製品を知るうえにも、是非「観覧下さい」。

会期と 十月九日(木)から十月十三日(月)までの五日間。毎日午前十時から午後六時まで。

会場 一階Ⅱ工作機械館。二階Ⅱ電機、化学、金属

組織する事業協同組合等は、取引関係のある親企業と共同で、上記の事項について「下請企業振興事業計画」を策定し、国の承認を受けることができるものとする。

この場合、下請企業者に対して金融上の特別措置を講ずるとともに、二分の一割増償却等の税制上の措置を講ずるものとする。

## 安心を積立てる 国の企業共済

企業共済とは、小規模企業の経営者が老後や不時の用にそなえて「安心を積立てる」一國の作った特別の制度です。

老後引退したり、企業を退職したりするときは、いわば「退職金」として有利に共済金が支払われ、安心して老後の生活を営むことができまします。また、不時の用もたててくれます。

こうした利益があるうえ、税法

の特典があり、小規模企業経営者の中には、退職金の積立として加入する方が非常に増えてきておられます。

また、持家制度は、当該中小企業者の経営状態や運営能力からみて、適切なものでなければなりません。

したがって、企業としての信用力および持家制度の内容や管理運営の仕方が、貸付対象として十分なるものであるかどうか、融資の

由に選ぶことができ、途中から増やすこともできます。

掛金は全額損金になり、共済金の支払いを受ける権利は、差し押さえたり、担保に供することを法律で禁じられておりますので、確実に支払われます。

共済金の支払い

1、事業をやめたとき(会社等の法人役員の場合は、その解散があったとき)。

2、会社等の法人役員が疾病、負傷、死亡により、役員でなくなつたとき。

3、六十五歳以上で、二十年以上掛金を払込んでいるとき。

このほか、親族に事業を譲つたとき、法人の役員が疾病・負傷・死亡以外の理由で退職したとき、個人企業を会社に組織替えしたときにも、準共済金が支払われます。

共済金額

五、〇〇〇円の掛金を払込んでいる方は二〇年で二八〇万円、三〇年で六三〇万円です。

その他

企業共済の運営は、全額政府出資の小規模企業共済事業団があたりつています。

当組合は、その窓口になっておられます。詳細については、組合事務局にお尋ね下さい。電話七三三〇七七八二(代)。

## 貸付期間十五年 従業員持家制度

可否を決める重要なポイントに「確保・定着の対策として中小企業者が運営する「従業員持家制度」を奨励するため、今般、商工中金を対象になります。

1、企業自らが行う住宅分譲資金(土地・建物いずれも可)。

2、企業が従業員に持家を取得させるために行なう資金の貸付に必要資金。

3、前記1の事業を協同組合等で共同化して行なう場合の当該事業に必要な資金。

持家制度内における「従業員当りたすね下さい」。

貸付限度

当該従業員が企業から給付される年間給与所得額の三倍以内で、かつ、最高五百万円程度を目安といたします。

積立 本資金の借入申込書提出時までに、随時、商工債券または預金による積立をお願いします。

積立額は、申込額の二〇%以上とし、企業自らが積立する方法、従業員自儀で積立する方法のいずれでも差し支えありませんが、後者の場合は、できるだけ企業と取り決めていただきます。

貸付期間 一カ年以内の据置期間を含む十五年以内。

ただし、持家制度に貸付期間十年以内等の定めのあるものについては、その定めに従います。

貸付利率 組員貸付年八分六厘担保・保証 原則として担保・保証が必要で。

担保の種類は、企業が所有する既存の生産設備、不動産、その他一般の貸出と同様ですが、このような物件が存在しないか、または不足するときは、本資金により企業が取得した分譲物件、または従業員が取得した物件でも差支えありません。

その他 従業員個人の住宅資金を企業を通じて賒貸するといったものではなく、あくまでも中小企業者が自らの行なう労働福祉施設事業に対する融資ですので、詳細については、商工中金大森支店窓口におたすね下さい。

掛金 拝金掛で、一カ月五〇〇円から五、〇〇〇円まで、五〇〇円ききみになっており、掛金額は自由

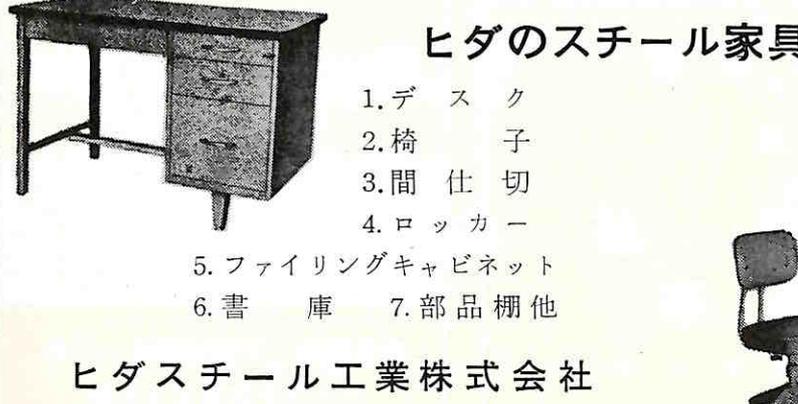
大田区産業会館主催による「産」よりの同館で開催されます。どなたでもご自由にご覧いただけます。入場無料。

時間Ⅱ第一部(午前十一時~十二時)、第二部(午後二時~三時)

大田区産業会館主催による「産」よりの同館で開催されます。どなたでもご自由にご覧いただけます。入場無料。

時間Ⅱ第一部(午前十一時~十二時)、第二部(午後二時~三時)

### ヒダのスチール家具



1. デスク
2. 椅子
3. 間仕切り
4. ロッカー
5. ファイリングキャビネット
6. 書庫
7. 部品棚他

**ヒダスチール工業株式会社**

本社 東京都千代田区大手町1~3 サンケイビル別館1階  
 蒲田営業所 東京都大田区蒲田3~24~3 電話(733)5701~3

# 事業の推移(2)

## 共済事業

**火災共済業務**  
昭和三十六年一月より東京都火災共済協同組合の代理所として火災共済業務を開始、市中の火災保険に比べ、その掛金の低廉さ(約二割安)と、火災時における給付の有利さ、迅速さ、しかも、東京都が支払保証をしているので安心だ、といういろいろな利点から、年を重ねるにしたがって加入者が増加し、昭和四十三年度末には、その契約高は三億六千万円を越えるに至った。

しかも、この火災共済業務の実施によって、組合と組合員との結びつきが、益々強固になりつつあることは、同様に耐えない。

**生命共済業務**  
近年、若年層を中心とする労働力の逼迫基調が一層強まり、中小企業界においても、有能な人材を確保し、その定着化を高めるための企業努力が、益々必要となってきたので、従業員の福祉対策の強化の一端として、昭和四十三年一月、財団法人全国中小企業共済財団に加入、生命共済業務を開始した。

## 手続代行業務

宮公庁への諸書類等の代行は、当組合創立以来、組合員の要請に応じて随時行ってきたのであるが、これを組合の大きな業務の一つとして採り上げるに至ったのは、求人難からなる事務合理化の一端即ち、省力化の一端としてであった。昭和三十七年八月に失業保険事務組合、昭和四十一年二月には労働保険事務組合の認可をそれぞれ受け、労働関係届出事務一切の代行を行っている。

この業務は、地域協同組合の特徴を活かしたもので、即ち、公共職業安定所も一ヶ所なら、労働基準監督署も一ヶ所ですむという当組合にとっては、まさにやり易い業務といえる。

業務の性質上、現在でも、小企業者の利用が圧倒的に多いのであるが、しかし、最近では、極端なまでの求人難を反映してか、中企業の利用者が漸次増えつつあることは、注目し値する。(現在、この業務を利用している組合員は三十六社である。)

## 指導事業

地域工業組合である当組合は、組合員が一地域に纏っている中で、時間のロスが少く簡単に集り得るという特徴があるので、創立以来指導事業には力を入れ、講演・講習会、工場見学等の開催はもとより、武山顧問弁護士による法律相談、或いは情報連絡など、盛んに行われてきたのであるが、昭和三十五年八月から月刊機関紙「工業蒲田」を発刊、経営各般に亘る指導記事を掲載、あわせて、組合事業のPRに努めているが、各方面から好評を得ている。

## 青年部会

指導事業の一端として、青年部会が設立されたのは、昭和三十八年十一月である。

当時、経済界は貿易自由化の嵐の中にあつて、産業界は未曽有の改革期を迎え、大企業と中小企業との差を問わず、その対策に日夜勵心し、殊に、中小企業においては、大企業の自由化対策のしわ寄せを受け、二重三重の苦しみと逆境の中で、この嵐を乗り切つて行かねばならない立場におかれ、これに対して、その年の七月に、中小企業基本法が衆・参両院を通過し、中小企業の進むべき道が明らかにされました。

しかし、中小企業基本法ができても、それは方向づけだけであつて、これに伴う数多くの関連法の制定と、その裏付けとなる予算措置が必要で、しかも、これらのものが全部揃つたとしても、これによって中小企業全体がこの嵐を乗り切るに足るだけの施策と措置が受けられるとは、残念ながら望み得べくもなく、われわれが生き残つて発展して行くためには、どう

しても自らの力で乗り切つて行く態勢を整える以外に道はない。それには、いろいろの方法が考えられるが、当組合が地域工業協同組合であるという特殊性も考え、昔から「事業は人なり」と言われているのだから、先ず「人づくりに」をやるうてはないか、というところで、次代を担う二世の切磋琢磨の場として、青年部会を作ることにになり、準備を進めて、昭和三十八年十一月十二日に、羽田空港内に日航レスト・ハウスで発会式を挙行した。

## 設備利用業務

雨米、リーターによるき人を得たこともあつて、積極的な事業活動を展開し、殊に、昭和四十三年三月には、会員のみでアメリカ力中工場視察団を編成し、見学を実施するなど、その活動は広く各方面から注目を浴びている。

当組合の母体である蒲田工業会が、昭和二十三年九月に蒲田工業会館(旧会館)を建築したが、昭和二十六年一月に、これを当組合が買取り、雨米、組合自体の集いに、或いは組合員の利用にあてていたが、老朽化したため、昭和四十年十二月に現会館を新築し、二階を貸集金室として、組合員の利用に供したのであるが、交通が至便のため、その利用が多く、組合員事業場の集金に、誕生会、或いは入社試験などによく利用されている。

また、会館正面のショールームに組合員製品を常設展示し、その販路拡張に努め、タイプ印書ゼロックスコピーなど、人手不足を補つための業務の利用者は年々増えつつある。

**クレトイシ代理店**

第一極薄切断砥石、煉瓦ブレード、帝研オフセット、鋼材切断砥石、三菱ダイヤモンド工具、X17ダイヤモンドペースト、研磨布紙ベルト、研磨機、切断機、パレル回転機、メデイア・グリットショート、クレカット研削油、研磨微粉

**中央砥研材株式会社**

東京都文京区湯島3丁目12番1号  
TEL (833) 9761代 (831) 9760

マニラロープ  
軍手、その他  
工場清掃用部品

**山本登商店**

大田区蒲田4-43-12  
電話 (731) 0453 (732) 9735

**塗料; 塗装機材の  
コンサルタント**

**昭**

どんな事でも気軽に相談下さい

**株式会社 昭和塗料商会**

本社 東京都大田区南蒲田1の21番12号(738)1151代  
本橋支店 (23) 4461代~3 中野支店 (381)7173代  
名古屋出張所 (361)73 6 7 5 前橋出張所 (23) 4 0 7

安全を保障する  
サト-の保護具

産業用安全衛生保護具のことなら、なんでも揃っているサト-に御用命下さい。

★御一報次第カタログ御送りします

**株式会社 サト-**

本社 大田区北馬込2~50~66  
電話 (773) 0161  
東京大森工場・茨城石岡工場

**XEROX**

組合備付のゼロックスを  
御利用下さい

タイプ印書は組合へ

**蒲田工業協同組合**

電話七三二一七八二一代

# 優勝の栄冠は太産工業に

## 第二回会社対抗ボーリング大会

既報の通り、去る九月十三日(土)午後六時より、本組合主催 第二回会社対抗ボーリング大会をワイルドレインズ東洋ホール六階で開催した。

二八社(二八チーム)、各チーム四名、計一二二名の出場選手、それに世話人、各社の応援団など二五〇名が一堂に会して、理事長杯争奪の大熱戦を繰り出したが、結局優勝の栄冠は太産工業株式会社(大田区池上五ノ三)に一社、社長千葉博氏に輝き、理事長杯を手にした。

- 四位 武蔵漆業工業株式会社  
五位 株式会社東電舎  
ラッキーセブン賞 株式会社コロナ電業社  
飛賞 協和鉛業株式会社  
飛賞 株式会社内田製作所  
飛賞 秀和工業株式会社  
飛賞 三栄工業株式会社  
飛賞 プービー賞  
丸隆工業株式会社  
ハイシリーフ賞 島海製作所  
三ゲーム総計点 五二五
- 二位 株式会社津川製作所  
三位 エムエス・ステンレス工業株式会社



## 納涼麻雀大会

恒例の蒲田同好クラブと共催の納涼麻雀大会を、去る九月六日(土)午後二時より蒲田工業会館において開催。

同好の士だけあって、定刻には殆んど顔が揃い、今日(土)は全員大いにハリキッテゲームが開始され、なごやかな中にも白熱の気が漂い、今井アルミの今井氏は第一回戦より飛ばしに飛ばして優勝の栄を得られた。

当日の成績は左の通り。

- 優勝 今井氏(今井アルミ)  
二位 村井氏(三陽工業)  
三位 杉山氏(日本エレクトロニクス)  
四位 古川氏(古川機械)  
五位 森田氏(森田機械)
- ラッキーセブン賞 吉村氏(秀和工業)  
飛賞 黒川氏(ユタカ製作)  
飛賞 赤井氏(赤井製作)  
プービー賞 川瀬氏(吉川製作)

## 中堅幹部指導講座

青年部会では、去る九月二日(火)の五日間に亘って、午後六時より蒲田工業会館において、会員工場の中堅幹部指導のため、言論科学研究所より講師を招いて「監督者講座」を開催した。

参加聴講者二五名、さすが監督者クラスなだけあって、欠席者も殆んどなく、聴講に、演習に、全く熱心で、その努力なるや敬服に値する。

しかし、その努力以上に収穫も非常に大きく、各職場においてそれが発揮されて、企業への伸展に役立つ。

羽田鉄工所地へ移転されました。お知らせします。

大田区昭和島一ノ三  
電話(七六二)五七三二、二

### 組合員だより

移転  
▽有有限会社本庄鉄工所(大田区木羽田)一四ノ三、代表者本庄三郎氏)では、首都公害防止計画によって

第二回会社対抗ボーリング大会

優勝チーム(太産工業)

燃 料 油 潤 滑 油 卸 小 売

有 限 会 社 降 旗 商 店

東 京 都 大 田 区 西 六 郷 1 丁 目 5 0 一 1 1

電 話 蒲 田 (733) 0 3 6 8 代 表  
(731) 5 7 3 3



**自動車税**  
昭和四十四年度第二期分の納期限は十月三十一日です。お手持の納付書で、お近くの銀行、信用金庫などの窓口へ、お早目にお納め下さい。(東京都大田区税務事務所より)



左記の図書が新しく入りましたのでお知らせします。  
組合事務所の本棚にございますので、自由にご覧下さい。  
貸出しもやっております。ご遠慮なくお申出下さい。

ことばの泉



「ことば」といふこと。このことばも、今なお、しばしば身にすることばに入れます。絵本大坊記尼が崎の段、相勤めまするは、即ち、舞台や土俵から、観客に呼びかけて、観客の喧騒を鎮め、これから、ある事柄が行なわれると、注意を喚起するために発せられる言葉である。

「ことば」といふこと。このことばも、今なお、しばしば身にすることばに入れます。絵本大坊記尼が崎の段、相勤めまするは、即ち、舞台や土俵から、観客に呼びかけて、観客の喧騒を鎮め、これから、ある事柄が行なわれると、注意を喚起するために発せられる言葉である。

業務報告

○貸金事情(現行退職金制度の実情) 情と問題点、労働時間、休日、休暇の現状、その他  
○情報処理、情報産業施策に関する各申(産業構造審議会情報産業部会会報)  
○昭和四十四年度年次経済報告(豊かへの挑戦、経済企画庁編)

八月 商業手形割引取扱高 二八、九九二、三三二円  
八月 共同購入業務取扱高 九八〇、三〇八円  
八月三日 同好ゴルフ会  
八月四日 健康診断精密検査  
八月五日 発明相談・工業権相談  
八月七日 夏期講習会(中央会主催)  
八月八日 夏期講習会(中央会主催)  
八月九日 夏期講習会(中央会主催)  
八月十一日 東武部中小企業経営者協会主催第二回労働教室開催  
八月十三日 経営サロン(青年部)

八月十三日 全体会議(青年部会) 八月十三日 報告事項  
イ 八月月例研究会開催  
日時 八月二十日(水)午後六時より  
テーマ 「高賃金に強い給与体系」(二十七才区分負金)

講師 経営管理研究所長 滝沢算織氏  
口 監査員講座開催(中堅幹部指導教育)  
日時 九月二日(火)、四日(木)、九日(火)、十一日(木)、十六日(火)の午後六時より九時まで  
テーマ 部下掌握のための話し方  
講師 言論科学研究所講師 定員 三〇名  
会費 一人につき三、〇〇〇円

ハ 会社対抗ボリリンク大会開催  
日時 九月十三日(土)午後六時より  
場所 東洋ホール六階

古来、芝那からの思想に、「天手の方、それを東のうすらと呼ん子南面す」という言葉があり、芝でているのは、この理屈に合っているわけである。

相撲の土俵も、北の方を正面と言ひ、反対側を裏正面、または向う正面、土俵から正面の客席に向つて右手が東方、左手が西方になつてゐる。

つまり、「東西」と呼びかけるのは、舞台から客席に向つて右手が東方、左手が西方になつてゐる。

つまり、「東西」と呼びかけるのは、舞台から客席に向つて右手が東方、左手が西方になつてゐる。

入って安心火災共済

特色

- 1. 掛金が安い
- 2. 支払は早く率がよい
- 3. 東京都の支払保証がある

東京都火災共済協同組合

中央区銀座2-10-18  
電話 (542) 0271~4

代理所 蒲田工業協同組合

作業服・事務服・耐酸服  
帽子・防寒衣・タオル

今村商事

東京都中央区日本橋小伝馬町2-7  
TEL (661) 1973  
横浜市保土ヶ谷区万騎ヶ原32-74  
TEL (361) 1794

爽秋の候お見舞い申し上げます

衆議院議員

宇都宮徳馬

東京都品川区東五反田3-16-1  
電話 (441) 7081, 7082



新聞印刷

社内報

栄輝堂印刷所

新大橋工場 東京都江東区深川新大橋2-5  
都電・都バス 新大橋停留所際  
電話 東京 634-4761 代表  
分室 東京都中央区新富町2-9  
電話 東京 551-1501

(前頁より)

を報告。

へ 麻雀大会開催

組合主催の麻雀大会を来る九月六日に開いて欲しい旨、組合理事會に要請する

②大森中金会より要請の件

青年部会のアメリカ中小工場視察報告を、中金例会会にして欲しいとの要請があり、これを諮ったが部会長に一任することに決定。

③九月事業について

八月二十日の月例研究会の折に諮ることに決定。

④機関紙編集方針について

八月十五日 再訓練「機械」受講について通知。

八月十九日 発明考案等相談日

八月二十日 経営サロン(青年部会)

テーマ 高賃金時代に強い給与体系(二七才区分賃金)

講師 経営管理研究所長 滝沢 算藏氏

八月二十日 全体会議(青年部会)

①九月事業について

経営サロン

左の通り決定。

日時 九月月上旬(但し、土曜日を除く)

場所 蒲田工業会館

テーマ コンピューター

講師 富士通より

月例研究会

左の通り決定。  
日時 九月下旬  
コンピューターの応用について見学。

見学先 富士通に依頼

②商工中金大森支店より青年部に要請の件

アメリカ中小工場視察を要請されたが、青年部会としてこれを

受けることに決定。

③第二回ボーリング大会開催について協力方お願いの件

来る九月十三日(土)午後六時より東洋ホールにおいて、組合主催ボーリング大会に、青年部会としてできる限り協力することし、その部署について島海副部長

八月二十一日 工連青年部委員会

八月二十五日 座談会

八月二十六日 発明・考案等相談日

八月二十六日 発明・考案等相談日

2 勤労青年は大学紛争をどう思うか

3 将来の抱負

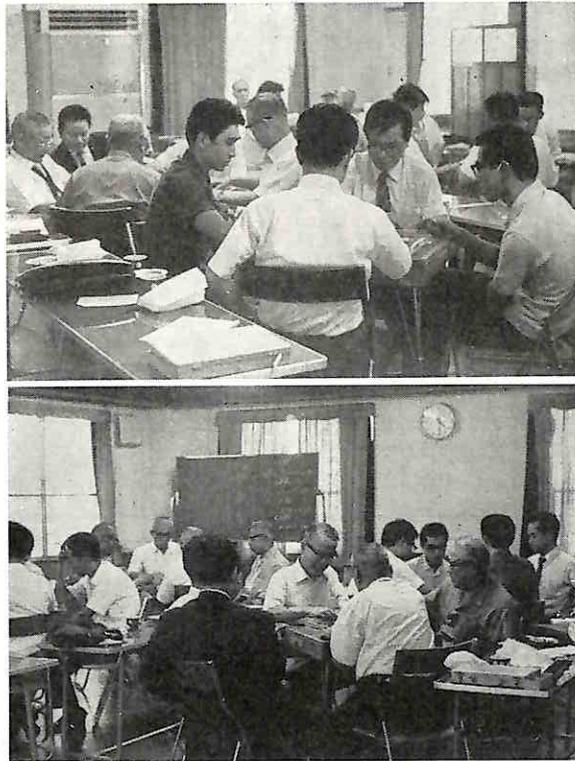
4 政治家への希望

出席者 自民党衆議院議員河野洋平氏、谷川和雄氏

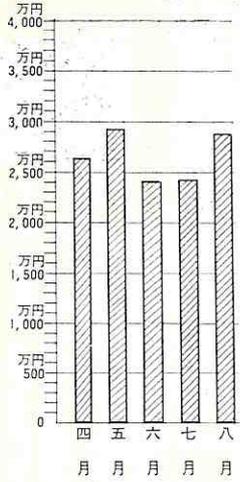
蒲田工業協同組合理事長 川瀬春近氏

勤労青年(コロナ電業社従業員十名)

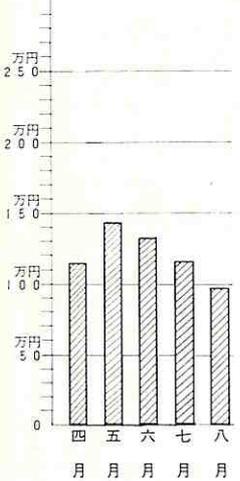
日



納涼 麻雀 大会



昭和四十四年度商業手形割引取扱高

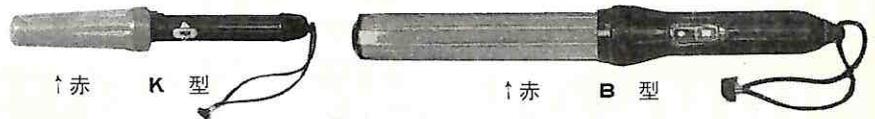


昭和四十四年共同購入業務取扱高

昭和44年10月1日から自動車必携品として法制化された

# 自動車非常信号灯

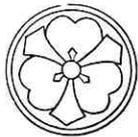
日本航空・全日空・防衛庁指定



## 永森電機株式会社

蒲田工業協同組合で取扱っています

電話 (732) 7 8 2 1 (代)



# 鳥 七

御集會にお祝いに御法要にぜひ鳥七の幕の内弁当折詰の御利用を

	コ	コ	コ	オ
	9	9	9	0
	2	2	2	6
	0	8	1	3
営業所	(731)	(738)	(738)	
管				

# 蒲田工業協同組合

TEL (732) 7 8 2 1 - 3

## 取 扱 品 目

- 1、超硬工具(バイト、工具) (三菱、東芝)
- 2、作業衣、帽子
- 3、安全靴、保安帽
- 4、ウエス、軍手
- 5、金属製机、椅子、書庫、ロッカー、部品棚
- 6、油及び塗料
- 7、砥石、ベルト、化学薬品類

御一報次第直ちに参上して御見積り致します何卒御利用下さい。

刺 烹



鳥 七

蒲田三二一四一四京浜線踏切際  
電話 蒲田(731) 三三四〇  
七三七四